日本初 環境省認定制度トリプル認定

GX検定

GXと向き合うすべての
ビジネスパーソンへ

GX推進に不可欠な基礎知識・スキルを証明する
検定試験



ABOUT

GX検定とは：GX推進の知識・スキルを証明する4つの検定

自社のカーボンニュートラル推進スキルに焦点をあてた3つのレベル別検定と、GX関連のソリューション提供・ビジネス創出スキルに焦点をあてた「GX検定 BIZ」で構成。業種や職種を限定せず、さまざまな目的で活用できます。



ベーシック

入門｜GXSSレベル1相当

GXを基礎から理解し、ビジネスをリード。全社員の共通リテラシーに



アドバンスト

中級｜GXSSレベル2相当

算定・開示の実践力をつけて、カーボンニュートラルの推進者に



スペシャリスト

上級｜GXSSレベル3相当

カーボンニュートラルをリードし、脱炭素経営を実現



BIZ

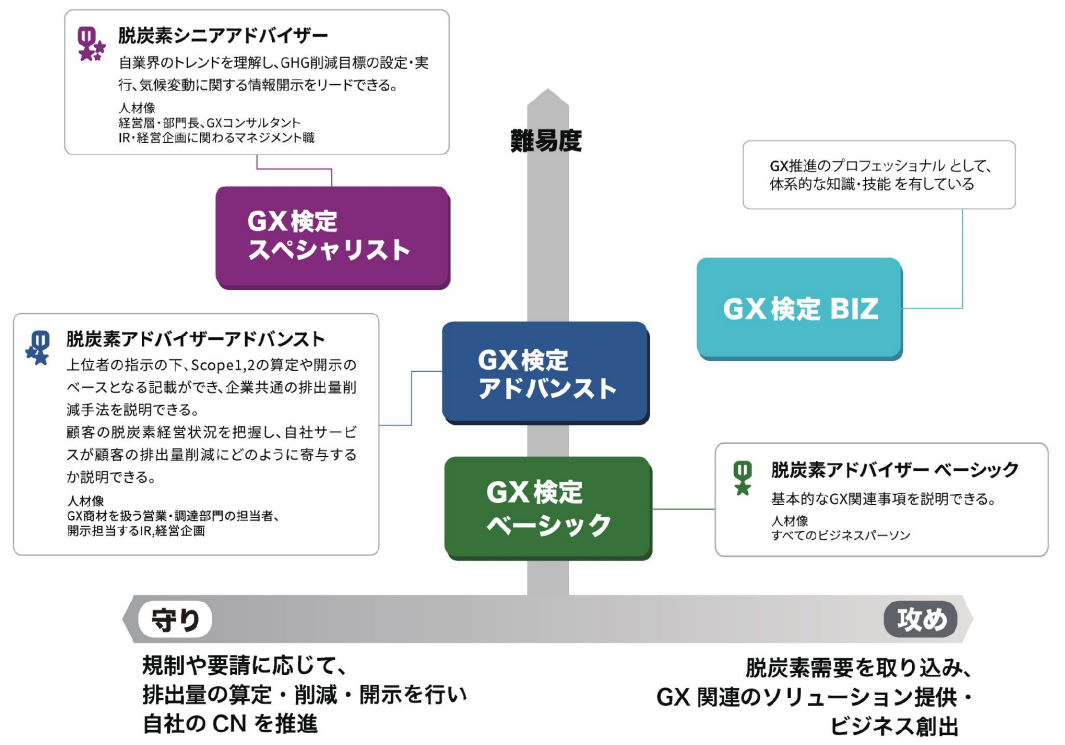
攻めのGX｜GXSSレベル1相当

ビジネスで活きる知識をつけて、GX推進のプロフェッショナルへ

LEVEL MAP

「守り」のCN推進と「攻め」のビジネス創出

4つのレベルは、自社の脱炭素を推進する「守り」と、GXビジネスを創出する「攻め」の2軸で体系化されています。



スペシャリスト
GXSSレベル3｜脱炭素経営をリード

アドバンスト
GXSSレベル2｜算定・開示の実務

ベーシック
GXSSレベル1｜全社員の共通言語

BIZ
GXSSレベル1｜GXビジネスの創出

日本初トリプル認定

環境省認定制度「脱炭素アドバイザー」の3レベルすべてに認定された検定

ベーシックからシニアアドバイザーまで、GX検定の3レベルすべてが環境省認定制度に認定されています。



GX検定 ベーシック

脱炭素アドバイザー ベーシック 認定



GX検定 アドバンスト

脱炭素アドバイザー アドバンスト 認定



GX検定 スペシャリスト

脱炭素シニアアドバイザー 認定（最上位）

RELIABILITY

国の標準に準拠し、業界の第一人者と共同開発

国のスキル標準に準拠した試験設計と、第一人者との共同開発による教材で、信頼性の高い知識を身につけられます。

GXSS準拠

GXスキル標準（GXSS）に準拠

GX検定は、経済産業省が主導するGXリーグ内「GX人材市場創造WG」において策定された「GXスキル標準（Green Transformation Skill Standards：GXSS）」に準拠。同WGリーダー企業の株式会社Beyontが設計・運営しています。

共同開発

環境・エネルギーの第一人者と共同開発

GX検定に対応した教材は、国際的に活躍する業界の第一人者と共同で開発しています。



竹内 純子 氏

U3イノベーションズ合同会社 共同代表

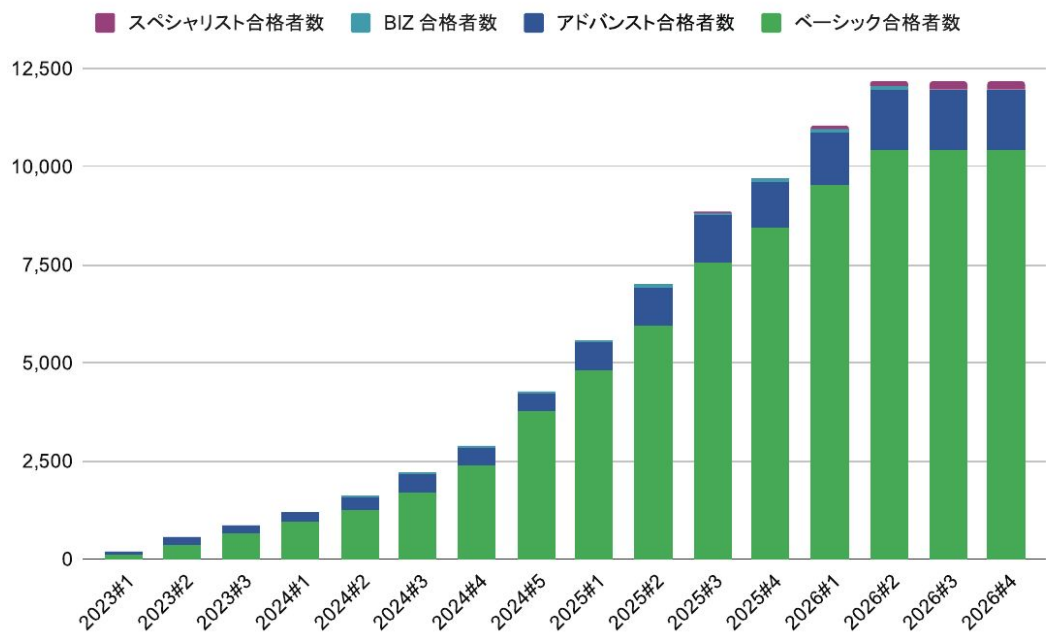
NPO法人国際環境経済研究所 理事

東北大学 特任教授

TRACK RECORD

全レベルの合格者数は2024年末から急上昇

受験者の拡大とともに合格者数は回を追うごとに増加。上位レベルの合格者も着実に増えています。



2024年末から急増

回を重ねるごとに受験者が拡大し、合格者数が大きく伸びています

上位レベルも拡大

アドバンスト・スペシャリスト・BIZの合格者も着実に増加

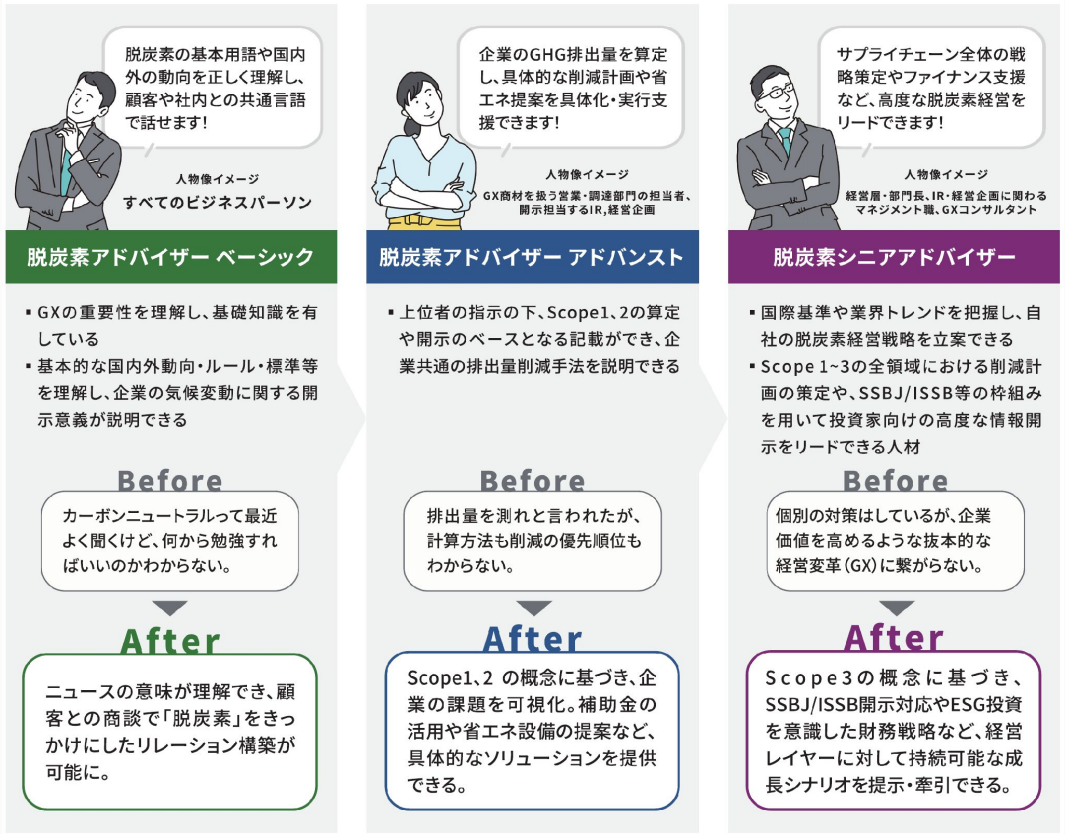
BEFORE / AFTER

レベル別：受験前と受験後でこう変わる

知識の習得から、
実務の実装、
経営変革のリードまで。

それぞれの立場で直面する「わからない」を、明日から使える「できる」に変えます。

- ベーシック：すべてのビジネスパーソン
- アドバンスト：営業・調達、IR・経営企画
- スペシャリスト：経営層・GXコンサル



WHY NOW

Scope3開示義務化で、GX人材の育成が急務に

2027年3月から始まるScope3の開示義務化（SSBJ基準）に対応すべく、Scope3算定から削減戦略・実行支援までをリードできる人材の育成が急務となります。

「信頼性の高い開示」による ESG評価の向上

難易度の高いサプライチェーン全体の排出量算定を正確に行い、投資家や金融機関から高く評価される情報開示を主導できます。

「サプライチェーン全体」の 削減を主導

自社だけでなく取引先も巻き込んだ排出削減目標（SBT等）の策定と実行をリードし、企業の競争力を高めます。

「法規制・国際基準」への 即時対応

複雑化する国際ルールを正しく理解し、ルール変更に伴うビジネスリスクを回避。迅速な経営判断が可能になります。

なぜ、今「実務実装力」が必要なのか

2026年：GXは「計画」から「実装」の時代へ

〜2024年｜準備・計画期

ルールの理解と準備

2025年｜転換点：外堀が埋まる

投資判断と体制構築

SSBJ最終化／改正省エネ法・温対法施行

2026年〜｜実装・成果の義務化

開示と削減の実行

GX-ETS第2フェーズ開始／有価証券報告書での開示義務

GX人材需要と供給のギャップ

求人急増に人材供給が追いつかない。だからこそ「既存人材のアップデート」が急務

出典：リクルート（2023年8月）プレスリリース

求められるGX人材：今までのスキルに、グリーン知識をアップデート

グリーンスキル

算定ルール、LCA、法規制、クレジット活用、エネルギー技術など

ポータブルスキル

論理的思考、社内調整、合意形成、プロジェクト管理など

ヒューマンスキル

コミュニケーション、柔軟性、倫理観、リーダーシップなど

各職種に求められる「GX推進スキル」

GXは、あらゆる職種の「OS（基本ソフト）」である

ルールの潮流
SSBJ適用で排出量データに「監査耐性」が必須に。欧州CSDDD等でサプライチェーン管理が法的義務へ

市場の変容
BtoB取引で製品CFPが受注を左右。Scope3削減要請に応えられず、取引から除外されるリスク

財務・資本の再評価
脱炭素性能の低い資産は座礁化リスク。SBT等の科学的根拠なき企業は資金調達リスクが上昇

既存の専門性 × GX実務実装力 ＝ 代替不可能な市場価値

ベーシック｜理解・共通言語化
背景を正しく理解し、社内外と共通言語で対話できる基盤を構築する

アドバンスト｜算定・プロセス構築
Scope1〜2の算定や削減プロセスの構築など「実務の実装」を完遂する

スペシャリスト｜戦略・価値創造
既存の枠組みをGX視点で再定義し、新しい価値を創造・リードする



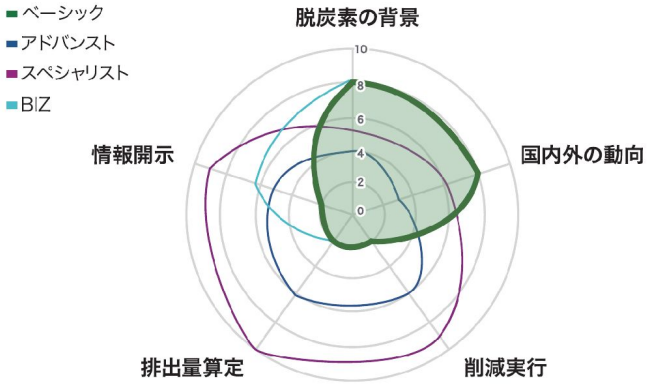
環境省認定制度「脱炭素アドバイザー ベーシック」認定

GX検定 ベーシック

環境省認定制度『脱炭素アドバイザー ベーシック』認定のGX入門レベルの検定です。脱炭素社会、サステナビリティ経営時代の共通リテラシーとして身につけておくべき内容を網羅。断片的なキーワード理解から抜け出し、GXの体系的な基礎知識を習得できます。

受験料　6,600円（税込）

■ 得られる知識



脱炭素の背景	気候変動問題の原因、その対策としての脱炭素・カーボンニュートラルの定義と関連する国際団体・会議について学びます。
国内外の動向	脱炭素に向けたグローバルトレンドをはじめ、世界のGHG排出状況、主要国の炭素生産性・削減目標・対策、及び日本の2050年カーボンニュートラル宣言と関連政策・戦略について解説します。
削減実行	削減手段としての様々な脱炭素ソリューションや、脱炭素化を支える技術の概要をさらいます。
排出量算定	Scope1,2,3の基本的な考え方・算定方法について理解します。
情報開示	脱炭素経営の全体像とTCFDやSBTといった取り組みの開示や目標について学びます。

対応講座



GX入門講座

【GXSSレベル1対応】知識0から学べる入門講座
11,000円／1名（税込）・eラーニング・5時間

GX検定 ベーシック

受験概要と出題範囲（シラバス）

対象者	難易度	受験資格	受験方法
企業の全社員	GXSSレベル1相当	なし	オンライン

1. 脱炭素化の背景とGXの概念

気候危機、カーボンニュートラルとGX、温室効果ガスの基礎知識、科学が示す将来シナリオ、国際交渉の歴史

2. 脱炭素政策の枠組み

SDGsと気候変動、ESG投資とサステナブルファイナンス、国際的なイニシアティブの枠組み、カーボンプライシング

3. 世界の動向

世界のエネルギー・GHG排出状況、脱炭素目標と国際枠組み、各国固有のアプローチ、主要国・地域の気候変動対策

4. 日本政府の動向

カーボンニュートラル宣言と戦略、GX推進に向けた政策体系、エネルギー政策、関連法制度・地域の脱炭素化政策

5. 企業の取組

脱炭素経営の全体像、気候関連リスク・機会の把握、GHG排出量の算定、製品ライフサイクルと環境評価手法、削減の実行

6. 脱炭素技術とイノベーション

GX技術の全体像、電源の脱炭素化、脱炭素化を支える技術、ネガティブエミッション技術



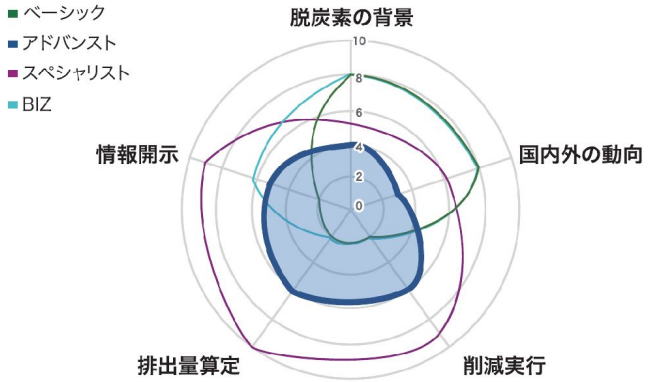
環境省認定制度「脱炭素アドバイザー アドバンスト」認定

GX検定 アドバンスト

GXの中級レベルの検定です。脱炭素経営の全体像や気候関連リスク・機会の把握について理解を深めながら、算定や開示について実践的な基礎力を身に着けます。カーボンニュートラルに関わる実務者として必須レベルの力を証明できます。

受験料　12,100円（税込）

得られる知識



脱炭素の背景	脱炭素経営の重要性や、求められる背景を理解し、脱炭素経営の全体像を捉えます。
国内外の動向	GHG算定について国内外のルールや、算定・目標設定・削減等について、日本企業の実際の取り組み状況を理解します。
削減実行	排出削減計画の策定フロー、そして企業共通の削減手法（省エネの推進、NETs（炭素除去）等）を理解します。
排出量算定	サプライチェーン排出量の概要と、Scope1,Scope2の考えた方と算定方法について演習にも取り組み実務を理解します。
情報開示	自社の気候関連リスク・機会の把握の進め方、それを文書化・情報開示する際の記載について理解します。

対応講座（受講必須）



カーボンニュートラル実践講座（中級編）

60,500円／1名（税込）・eラーニング

動画講義7時間＋演習3時間

GX検定 アドバンスト

受験概要と出題範囲（シラバス）

対象者	難易度	受験資格	受験方法
GX推進・営業・調達など	GXSSレベル2相当	中級編の受講者	オンライン

1. 脱炭素経営の広がり
脱炭素経営の全体像、国際動向、国内動向

2. 気候関連リスク・機会の把握
ガバナンス整備、リスク重要度の評価、シナリオ定義、事業インパクト評価、情報開示

3. サプライチェーン排出量の概要
GHGプロトコル、算定の概要と原則、算定結果の活用方法

4. Scope1, 2の算定方法
Scope1,2の基本的な考え方と算定方法

5. 排出削減目標の設定
設定の手順、SBTの概要・認定基準・認定状況、中小企業向けSBT

6. 排出削減計画の策定
現状把握、削減施策の検討、削減施策の優先度判定

7. 削減対策の実行
省エネ、再エネ電力調達、燃料・原料転換、NETs・炭素除去、カーボンクレジット等



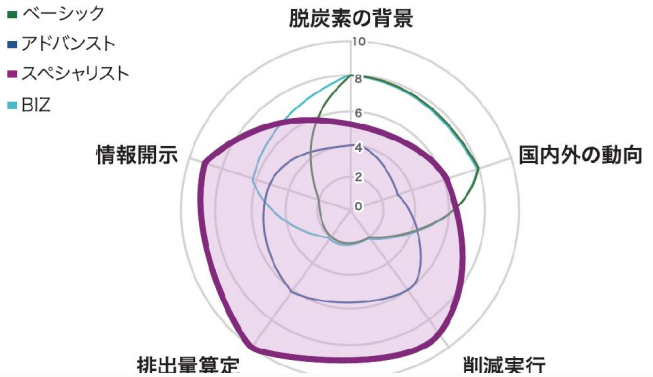
環境省認定制度「脱炭素シニアアドバイザー」認定

GX検定 スペシャリスト

自社のカーボンニュートラルを主導できる知識・スキルを証明する上級検定。Scope3排出量算定から削減の目標設定・実行をリードし、一連の取り組みを開示することで脱炭素経営を実現します。ISSB、CSRD、PACT等の国内外の最新動向も学べます。

受験料　23,100円（税込）

得られる知識



脱炭素の背景	脱炭素経営の重要性・手順を理解し、国内外の取り組み状況を把握します。
国内外の動向	Scope3における主要産業別の国内外動向について把握します。
削減実行	削減目標・計画の策定方法及び、それに基づくScope1,2,3の削減手法を理解します。
排出量算定	算定における主業務の全体像及び、サプライチェーン排出量（Scope1,2,3）の算定について理解します。
情報開示	環境報告の記載事項やTGFD開示の手法をはじめ、情報開示で抑えておくべきことを理解します。

対応講座（受講必須）



カーボンニュートラル実践講座（上級編）

132,000円／1名（税込）・eラーニング

動画6時間45分＋演習3時間45分

GX検定 スペシャリスト

受験概要と出題範囲（シラバス）

対象者　GX推進の統括・リーダー

難易度　GXSSレベル3相当

受験資格　上級編の受講者

受験方法　オンライン

1. 脱炭素経営の実践

脱炭素経営の実務、脱炭素経営の現状

2. サプライチェーン排出量の算定・削減手法

算定の基本事項、Scope1,2・Scope3排出量の算定、Scope1,2・Scope3の削減手法

3. 情報開示の手法

サステナビリティ情報開示の必要性、環境報告ガイドライン、TCFD開示、CDP、第三者保証、削減貢献量の算定・開示

4. 算定における主な実務

算定範囲の決定、排出量算定、削減目標・計画の策定、削減対策の実行、サプライヤーエンゲージメント、ステークホルダー対応

5. Scope3における主要産業別の国内外動向

全般的な動向、金融・建設・化学・生活産業・通信業界、国内外企業の先行事例

ISSB・CSRD・PACT

国内外の最新動向まで学び、企業のGX戦略推進の足掛かりに



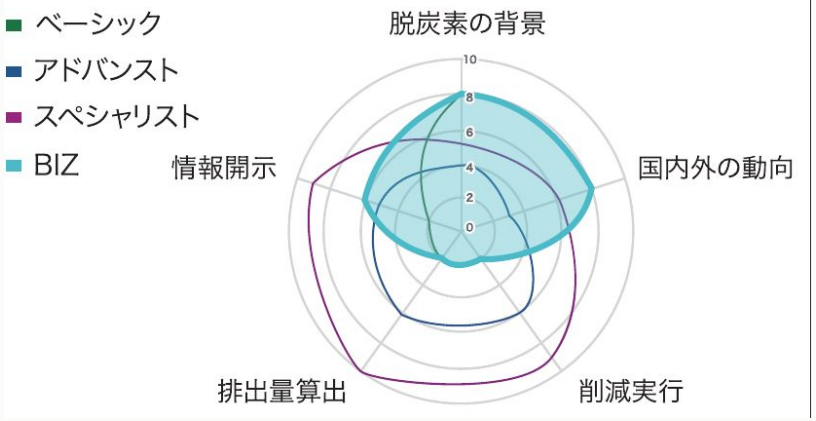
攻めのGX人材を証明する検定

GX検定 BIZ

脱炭素需要を取り込み、GXに関するビジネス創出ができるレベルの知識・スキルを保有していることを証明する検定です。GXに関わる政策・法制度やファイナンスなど、実務で活用可能な知識を体系的に身に着けられます。

受験料　12,100円（税込）

得られる知識



お知らせ

GXリーグ刷新に伴うリニューアル準備中（次回開催未定）

2026年のGXリーグ刷新に対応したカリキュラム・試験内容へリニューアルするため、一次受付を停止しています。

対応講座



GX推進講座

60,500円／1名（税込）

現在リニューアル中

COMPARISON

具体的に得られる知識の比較

リテラシーから、
Scope3算定・高度な開示まで。

レベルが上がるごとに、算定・削減・開示の実務と戦略的な対応へと範囲が広がります。

- ベーシック：背景・動向・開示の概要
- アドバンスト：Scope1,2算定・SBT
- スペシャリスト：Scope3・高度な開示

		ベーシック	アドバンスト	スペシャリスト
GX リテラシーの習得	気候変動対策・脱炭素経営の背景や重要性・基礎知識	○	○	◎
国内外の動向	日本の政策や動き	○	○	○
	世界の潮流	○	○	○
自社への影響	リスクと機会の認識	○	○	○
	リスクと機会の影響度評価	–	○	○
GHG 排出量算定の基礎知識	算定ルールと範囲の理解	△	○	○
GHG 排出量算定	Scope 1, 2 排出量の算定	–	○	○
	Scope 3 排出量の算定	–	–	○
削減目標・計画	SBT 等の削減目標の概要と設定手順	–	○	○
	Scope3 を含めた SBT 実務と高度な削減計画	–	–	○
情報開示・戦略	TCFD/ISSB 等の情報開示枠組みの理解（概要）	○	○	○
	情報開示の実務と高度な戦略的対応 (CDP、第三者保証、投資家対応等)	–	△	○

CAREER ROADMAP｜職種別キャリアアップ・ロードマップ①

財務・経理 × GX：SSBJ対応・サステナビリティ会計

ミッション　財務諸表と同等の正確性と監査耐性を持った排出量データを整備し、脱炭素経営を財務面から支える

市場価値の根拠

サプライチェーン全体でのデータ開示が厳格化する中、排出量に財務諸表と同等の「正確性」と「監査耐性」を持たせられる財務人材が不可欠に。

なぜGX知識が必要？

排出原単位の妥当性や境界設定といった「算出根拠」を理解していなければ、外部監査や投資家からの質疑に対応できず、信用リスクに直結する。

ベーシック

背景を理解し、データを集める

開示義務化の背景を理解し、社内関連部署へのデータ提出協力を依頼する

アドバンスト

Scope1,2を算定し、SSBJ開示を運用

自社・グループのScope1,2の算定実務と、SSBJ開示項目の整理・運用を行う

スペシャリスト

財務影響を試算し、投資をリード

炭素税やICPが将来財務に与える影響を試算し、脱炭素投資の意思決定を財務面からリードする

目指す姿：正しいデータで脱炭素の取り組みを裏付け、経営判断を数字で支える

キーアクション：炭素税やICP（内部炭素価格）が将来財務に与える影響の精緻な試算

CAREER ROADMAP｜職種別キャリアアップ・ロードマップ②

SCM・購買 × GX：サプライチェーン脱炭素・Scope3管理

ミッション　サプライヤーに具体的な「温室効果ガス削減の進め方」を提示し、脱炭素型サプライチェーンを統括する

市場価値の根拠

CSDDD等の影響で供給網の管理が法的責任となる中、サプライヤーを巻き込んで実際の削減を実現できる人材は、最も価値のある調達スペシャリストに。

なぜGX知識が必要？

科学的根拠（SBTi等）に基づく「具体的な削減のステップ」をサプライヤーに提示・指導できなければ、実効性のあるScope3削減は望めない。

ベーシック

重要性を理解し、調査票を回収

グリーン調達の重要性を理解し、サプライヤー向けアンケートの配布・回収を担当する

→

アドバンスト

排出量を算定し、重点先を特定

カテゴリ別の排出量を算定し、排出量の多い「重点サプライヤー」を特定・分析する

→

スペシャリスト

LCAを改善し、仕組みを統括

サプライヤーと共同でLCAを改善し、業界標準となる低炭素サプライチェーンを設計・統括する

目指す姿：取引先と協力して、環境に優しい調達を形にする実務リーダー

キーアクション：重点サプライヤーの特定と、共同でのLCA改善サイクルの構築

CAREER ROADMAP｜職種別キャリアアップ・ロードマップ③

法人営業 × GX：環境付加価値セールス

ミッション　製品の環境価値を定量的に示し、顧客の脱炭素KPI（目標値）を解決する付加価値セールスを展開する

市場価値の根拠

BtoB取引では製品のCFPが選定の決め手に。価格ではなく「環境価値」で顧客の経営課題を解決できる営業は、高利益率を維持するエースとなる。

なぜGX知識が必要？

顧客の購買担当者は「Scope3削減」をKPIとしているため、自社製品による削減貢献量を定量的に示せないと選定の土俵に乗れない。

ベーシック

優位性を理解し、正しく訴求

自社製品の環境優位性を、GX用語を用いて正しくプレゼンテーションする

アドバンスト

削減貢献量を計算し、提案書に

顧客の排出量削減に寄与する「削減貢献量」を計算し、提案書としてパッケージ化する

スペシャリスト

新モデルを構想し、提携を獲得

顧客のGX課題を解決するビジネスモデル（サブスクやPaaS）を構想し、戦略的提携を勝ち取る

目指す姿：環境価値を分かりやすく提案し、顧客の脱炭素課題を解決する頼れるパートナー

キーアクション：削減貢献量を定量化した「環境付加価値提案」のパッケージ化と新ビジネスモデルの構想

GXキャリアの第一歩！

GX検定 ベーシック合格へのステップ



STEP 01

対応講座で動画インプット

「専門用語の壁」を突破。初心者でも挫折しない、1講義15分～の細切れ動画で、通勤・隙間時間にスマホで学習

STEP 02

体系化されたテキストで整理 & 例題で試験対策

複雑な国際ルールや国内政策も、図解豊富なテキストでスッキリ整理。例題もついているので試験対策も可能

STEP 03

本番試験

特別な会場へ行く必要はありません。期間中、24時間いつでも、好きなタイミングで受験可能です。 ※ IBT方式（選択式テスト）

平均学習時間の目安
約1ヵ月（当社調べ）

受験方式
IBT方式（選択式）

受験日時
期間中24時間いつでも

学習方法

目的に合わせて選べる3つの学習ツール



公式テキスト

ベーシック 公式テキスト＆問題集

「GX検定 ベーシック」の唯一の公式テキスト。GXの知識を体系的に網羅し、合格に必要な知識を効率的に習得できます。

販売中：Amazon／楽天ブックス



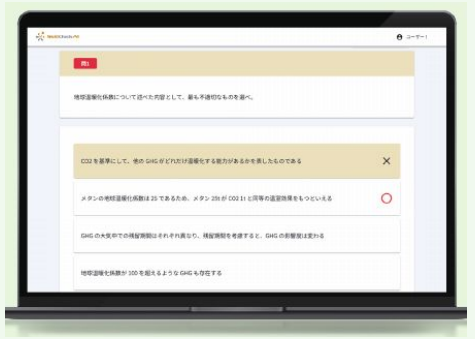
対策アプリ

GX検定 ベーシック対策アプリ

ベーシック対応のオリジナル問題を150問収録。スマホで手軽に演習できます。

1,800円（税込）

詳細：アプリ紹介ページ



模擬試験 法人様限定

GX検定 模擬試験（解説付き）

本番と同じシステムで受験可能。問題ごとの解説とレーダーチャートで苦手分野を可視化します。

3,000円（税抜）／50問×2セット

受験環境について

自宅やオフィスから、オンラインで受験

必須環境をご用意できない場合は受験できません。受験者は全員、**事前にネットワークチェック**をお済ませください。

Webカメラ付きパソコン
ノートPC推奨。内蔵カメラ・外付けカメラのどちらでも構いません。

本人確認書類
マイナンバーカード・運転免許証・在留カードのいずれかを受験前に提示。

スマートフォン
本人確認書類の提出時に利用。iOS12以降、Android8以降。

個室空間での受験
不正防止のため受験状況を撮影。他の人物が映り込まない個室で受験。



その他の必須環境の詳細は、GX検定サイトをご覧ください。

法人のみなさまへ

GX検定を、貴社の「推奨検定」にしませんか？

脱炭素を「コスト」から「成長」へ。

GXは一部の専門部署だけの課題ではありません。全社員が「共通言語」を持つことで、組織の変革は劇的に加速します。



部門間連携の強化（共通言語の構築）
部署を跨ぐプロジェクトが円滑化し、組織の「壁」を取り払います

意思決定スピードと精度の向上
全社的な理解により、GX戦略や施策への合意形成を迅速化します

顧客提案力の向上
脱炭素課題に寄り添った本質的な提案で、競合他社と差別化します

取引先からの信頼とプレゼンスの獲得
検定導入を客観的な指標とし、自社の「脱炭素推進」をアピールします

GX検定 導入企業様（一部）

edash　大和証券 Daiwa Securities　株式会社 東光高岳　TOPPAN

団体受験のご案内

団体割引とサポート体制で、組織の学びを後押し

10名以上の団体受験では、講座とのセット割引と、ご担当者様の運用負担を軽くするサポートをご用意しています。

GX検定 ベーシック＋GX入門講座 セット

人数	価格（税込・1名）
20名まで	定価 17,600円
21～50名まで	15,950円

※同法人内で10名以上、同一回へのお申込みが対象です。

GX検定 アドバンスト＋実践講座（中級編）セット

人数	価格（税込・1名）
10名まで	定価 72,600円
11～50名まで	66,550円

団体受験のお問い合わせ：green-transformation.jp/group_contact/

事務工数の削減

一括申し込み・窓口一本化で、担当者様の負担を軽減

進捗の可視化

受験状況や結果をリストで把握し、社内教育を支援

団体割引の適用

一定人数以上の受験で、コストメリットを提供

法人限定の学習支援

法人様限定の模擬試験などで、受験前の学習を支援

法人様 導入事例｜製造業・5,000名以上

TOPPANホールディングス株式会社 様



◎ 課題・背景

サステナビリティ関連業務に就く社員を中心にGX教育の必要性を感じていたが、先行していたサステナビリティ人財育成に対して、GX教育が手薄だった。

◎ ポイント

ベーシックの受験でGXリテラシーを定着させ、顧客への提案に即活用。「アドバンストレベルの知識やスキルを身に着けたい」と受講者自ら希望する声が集まり、GX推進への機運が高まった。

GX検定と対応講座の導入で得られた効果

顧客提案への活用	環境・サステナ実務への活用	社内連携・組織推進への活用
環境対応の意義や重要性を論理的に伝えられるようになり、提案の説得力・信頼関係・商談の質が向上した。	既存業務を体系的に理解し直し、実務の精度が向上。より高度な実務スキル習得への意欲も高まった。	他部門・上層部との合意形成がスムーズに。GXが「全社員に関わる共通課題」と認識されるようになった。

法人様 導入事例

金融・エネルギーなど、幅広い業界で導入

大和証券株式会社 様

金融・保険業｜5,000名以上



◎ 課題・背景

全社員向けの基礎研修では、GXの観点で顧客支援をする社員には十分な内容ではなかった。

◎ 得られた効果

GXの事業領域に取り組もうとする企業のビジネスポテンシャルを、的確に捉えられるイメージが持てた

アストモスエネルギー株式会社 様

サービス業｜5,000名以上



◎ 課題・背景

全社的なGX成長戦略の推進に向け、核となるGX人材を育成し、現場への導入を検討したい。

◎ 得られた効果

研修や検定の効果を実感でき、現場への導入イメージを検討する一歩を踏み出すことができた

合格後の価値

合格を、名刺やSNSで示せる「資格」に

合格者ロゴを配布（全レベル）

GX検定は環境省認定制度 脱炭素アドバイザーの認定を受けているため、合格すると名刺や署名に認定名を明記できます。

合格した検定	明記できる名称
GX検定 ベーシック	脱炭素アドバイザー ベーシック
GX検定 アドバンスト	脱炭素アドバイザー アドバンスト
GX検定 スペシャリスト	脱炭素シニアアドバイザー

デジタル証明書「オープンバッジ」



アドバンスト・スペシャリストの合格者に付与。SNSやメール署名、デジタル履歴書で世界標準のスキル証明として活用できます。



称号「GX検定マスター」

3レベルすべてに合格した方に授与。GXを牽引するプロフェッショナルであることを公的に証明できます。

合格者のためのコミュニティ

GX検定 合格者限定イベント



「合格」をゴールにしない。
学びを「実践」へ変えるコミュニティ

検定で得た知識を、自社の変革や社会実装へとつなげる場。最新事例のインプットや合格者同士のネットワークを通じて、実務に活きる視点が得られます。

開催時に合格者の方へメールでご案内します

- **現場の「生の声」から課題解決のヒント**
- **GX推進のキーマンとのコネクション形成**
- **モチベーションの維持・向上**
- **キャリアの市場価値を高めるアウトプット**

合格者インタビュー

合格者の声を、GX検定サイトで公開中



GX検定 ベーシック コンサルティングサービス業

事業開発・DX、モビリティ、エネルギー領域など幅広いテーマを業務に持つ合格者に、業務とGXの関わりや試験対策、これから受験する方へのアドバイスを伺いました。

▶ 動画を見る：youtu.be/4Ey5qMjWkuQ



GX検定 アドバンスト IT・通信業界

受験のきっかけから、通勤時間を活用した学習法、合格後に商談や社内研修でどのような変化があったかまで、詳しく伺いました。

▶ 動画を見る：youtu.be/vPiQO5zcRCE

GX検定

まずは、お気軽にお問い合わせください

オンライン無料説明会 実施中！

GX検定 ベーシック／アドバンストの概要や特長、対策のコツ、対応講座についてご説明します。

▶ 詳細・お申込み

green-transformation.jp/gx_certification/information-session/

お問い合わせ

株式会社Beyont

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-40-5 東久ビル7階

TEL 03-4405-3379

MAIL info@skillupai.com

WEB green-transformation.jp/gx_certification/

株式会社Beyontは、GXフューチャーコンソーシアムに参画しています。